

令和4年度 学校法人昭和学院 事業計画書

1. 基本方針

- (1) 建学の精神である「明敏謙讓」の精神と伝統を踏まえ、教育の充実向上及びガバナンス強化による組織力の強化、業務の効率化、財務基盤の強化など経営資源の基盤構築を積極的にはかり、特色ある学院の維持発展を目指します。
- (2) 教育面においては、建学の精神のもと豊かな人間性を育成し、総合学園としての特色を生かした全人教育の推進を図り、一人ひとりの可能性を大きく広げ、国際社会から求められる若者を育てます。
 - ① 進学実績の向上・希望する職場への就職
 - ② クラブ活動で全国優勝、優れた成績をあげることを目指す
 - ③ 豊かな人間性を持った若者の育成
- (3) 学生、生徒、児童、園児及び教職員の安全確保に努めます。
- (4) 経営面においては、少子化の進行及び学校教育の変化等を視野に長期的な経営環境を考慮し、常に適正な収支の均衡を保つよう財政の健全化を図り、安定した経営を目指します。特に計画的な人事政策により人件費の削減に努めます。また、事業計画を推進するうえでは予算の策定と、予算の遵守、効率的な経費の配分と節約に努めます。
- (5) 収入の確保、特に各校・園の学生、生徒、児童、園児の学則定員数の確保に努めます。
- (6) 財源の多元化を推進します。(寄附金募集の実施等)
- (7) 教職員の働き方改革を推進し、業務の積極的な改善と効率化を図り超過勤務時間の削減を実現します。

2. 事業計画

(1) 昭和学院短期大学

【基本方針】

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、「明敏謙讓」の教育理念のもと、職業または実際生活に必要な専門的学術技芸を授けるとともに、良き社会人として教養を高め、真に平和を愛好し、人類の文化及び健康福祉の向上に寄与する有為な人材を養成することを目的とする。

この目的をはたすために本学は2学科2専攻を擁し、各々の教育目的と教育目標を掲げている。

学科・専攻の教育目的

人間生活学科

人間尊重の立場から人間生活を総合的に捉えることのできる人間の育成を目的とする
(生活クリエイション専攻)

家庭生活をデザインできる生活者、ビジネス社会に対応できる人材の育成をめざす

〈こども発達専攻〉

人間の心身の発達について理解し、他者と関わる能力を身につけた保育者の育成をめざす

ヘルスケア栄養学科

人の健康を食と栄養の面から支援・指導できる能力を持ち、健康増進・予防医療・福祉に貢献する人材の育成を目的とする

学科・専攻の教育目標

人間生活学科

教養科目、基礎科目、専門科目における高いレベルでバランスのとれた能力（知識・理解・技能・表現）と、それを基盤にしてより良い人間生活を目指して諸課題を解決しようとする意欲（思考・判断・関心・意欲・態度）とを自ら育み備える

〈生活クリエーション専攻〉

1. 生活全般に関する幅広い知識と技術の修得により、健康で快適な生活を創造するための力を備える
2. 消費者の立場を理解し、多様なビジネスに対応できる知識、技術を身につける

〈こども発達専攻〉

1. 人間に関わる理論を学ぶことで、精神的、身体的に健康に生きることへの問題意識を持ち、問題解決へ向けての応用能力を身につける
2. こどもたちの個性や可能性を大切にして、人格形成に関わる適切な指導や援助のできる保育力および人の気持ちへの受容・共感・支持の態度を身につける

ヘルスケア栄養学科

1. 豊かな人間性を養い、健康増進・医療・福祉に貢献しようとする姿勢を身につける
2. 専門科目の講義や実験・実習・演習を通して、人の健康を食と栄養の面から支えるために必要な高度な専門的知識・技能を身につける

本学は建学の精神に基づき、以下の通り学科・専攻ごとにディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを定めている。

①ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人間生活学科

教養科目、基礎科目、専門科目における高いレベルでバランスの取れた能力と、それを基盤にしてより良い人間生活を目指して諸活動を解決しようとする意欲とを自ら育み備えている

〈生活クリエーション専攻〉

1. 生活全般に関する幅広い知識と技術の修得により、健康で快適な生活を創造するための力を備えている（社会人基礎スキル、思考力）
2. 消費者の立場を理解し、多様なビジネスに対応できる知識、技術を身につけている（専門知識・技術、コミュニケーション力、実践力、向上心・責任感）

【学修成果】

評価指標	到達目標
社会人基礎スキル	生活者・社会人としてグローバル社会の中でも通用する教養やマナーを身につける
専門的知識・技術	生活を科学的に観察し理解することができ、目指すビジネス社会に対応した知識・技術を身につける
思考力	専門的知識・技術を活用して、問題解決のためのプロセスについて筋道を立てて考え、表現できる
コミュニケーション力	グループ学習や実験実習において他者と関わることで他者を尊重し協力して問題解決ができる
実践力	専門的知識や技術を家庭生活や社会生活の中で活用できる
向上心・責任感	ビジネス社会の一員としての社会的役割を理解して責任ある行動をとることができる

〈こども発達専攻〉

1. 人間に関わる理論を学ぶことで、精神的、身体的に健康に生きることへの問題意識を持ち、問題解決へ向けての応用能力を身につけている（社会人基礎スキル、思考力、コミュニケーション力）
2. こどもたちの個性や可能性を大切にして、人格形成に関わる適切な指導や援助のできる保育力および人の気持ちへの受容・共感・支持の態度を身につけている（専門的知識・技術、実践力、向上心・責任感）

【学修成果】

評価指標	到達目標
社会人基礎スキル	社会人としての教養・マナーを身につけ、自己理解の上で自己表現ができ、保育現場の発展に役立つことができる
専門的知識・技術	専門分野における基本的な知識・技術を身につけ、こどもたちの個性や可能性を大切にできる
思考力	人間が精神的、身体的に健康に生きることへの問題意識を持ち、知識・技術を活用して、子育てや子育ての問題解決のためのプロセスを考えることができる
コミュニケーション力	こどもの心身の発達理解を下に、子どもや保護者の気持ちを理解し、他者を尊重し、協力して問題解決ができる
実践力	保育場面において、具体的な保育の構想計画を立てることができ、知識・技術を活用して、実践できる
向上心・責任感	保育者としての役割や保育・教育理念を理解し、自分自身を高める学習や行動、責任感ある行動を実践できる

ヘルスケア栄養学科

1. 豊かな人間性を養い、健康増進・医療・福祉に貢献しようとする姿勢を身につけている（社会人基礎力、向上心・責任感）
2. 専門科目の講義や実験・実習・演習を通して、人の健康を食と栄養の面から支えるため

に必要な高度な専門的知識・技能を身につけている（専門的知識・技術、思考力、コミュニケーション力、実践力）

【学修成果】

評価指標	到達目標
社会人基礎スキル	栄養士・社会人として必要な教養・マナーを身につける
専門的知識・技術	食・栄養分野における基本的な知識・技術を身につける
思考力	筋道を立てて物事を考え表現できることや知識を活用して問題解決に向けて計画・準備できる
コミュニケーション力	問題解決に向けて協力して行動できる
実践力	栄養士としての専門知識・技術を活用し、実践できる
向上心・責任感	栄養士の社会的役割を理解し、責任ある行動を身につける

②カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間生活学科

人間生活学科の教育課程として、豊かな人間性と幅広い教養を身につけるための「教養科目」、生活者として必要な本学科の基幹となる学問領域としての「基礎科目」、専攻の教育目的を達成するための「専門科目」を配し、より良い生活の実現を目指す総合力を養う〈生活クリエイション専攻〉

1. 生活全般を科学的に探求する学びを配置し、その上でビジネスに必要な専門的知識を身につけさせる
2. アクティブ・ラーニングによる学びを取り入れ、社会で求められるコミュニケーション力や問題解決力に加えて、クリエイティブな力を身につけさせる

〈こども発達専攻〉

1. 精神の発達、身体の発達に応じた科目をバランスよく配置して、個人の発達とともにその発達を支える社会との関連を学び、人間を総合的に観る能力を身につけさせる
2. 理論、演習、実習を1年次より有機的に配置して、2年間の学びの中で、実体験を生かして理解を深め、専門職への意識の向上を図る

ヘルスケア栄養学科

1. 「専門基礎科目(必修)」で基礎的学力を養い、「専門科目(必修)」から「専門科目(選択)」へと、段階を追った系統的な学習を通じて高度な専門的知識を修得させる
2. 「実験・実習・演習」に重点を置いた実践的な学びを通して、専門的スキルを身につけさせる
3. 豊かな人間性を養うための「教養科目」と高度な知識や資格を取得するための「専門科目」を置き、丁寧な個別指導を行い、個々の学生に適した学びを可能にしている

学修成果の評価については、成績と連動しておりルーブリック評価法を取り入れて行う。履修科目の単位認定に当たっては科目の性質に応じて筆記試験、レポート試験、日常点などを適切に組み合わせて評価し、その方法と配点は開講前にシラバスに明示する。

③アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人間生活学科

人間尊重の精神をもち、自らの生活の向上のために前向きに努力できる人、またはその意思のある人

〈生活クリエイション専攻〉

1. 生活全般に興味・関心を持ち、健康で豊かな生活について意欲的に学びたい人
2. ビジネス社会で活躍したい人、あるいは家庭科教員として活躍したい人

高校での学びについて

高等学校卒業程度の基礎学力（英語、数学、国語等）を身につけ、家庭科に興味がある人

〈こども発達専攻〉

1. こどもを含めたあらゆる人間関係に意欲を持って、柔軟に対応できる人
2. 人間生活を理解できる保育者となるための基本的資質（素直さ・明るさ・倫理観等）を持ち、弱者に寄り添うことのできる人

高校での学びについて

高等学校卒業程度の基礎学力（英語、数学、国語等）に加えて、社会生活を営むための基本的能力や自己管理能力を身につけている人

ヘルスケア栄養学科

1. 人の健康を食と栄養の面から支えるという目標を持ち、目標に向け努力を惜しまない人
2. 健康増進・医療・福祉に貢献できる、人間性豊かな人

高校での学びについて

高等学校卒業程度の基礎学力を身につけ、食や栄養の分野に関わる学びに興味がある人

【実施計画】

建学の精神に則り、令和4年度は下記の事業を実施する。

（新規事業を含むものを□で囲った）

1. Society 5.0に向けた教育の質と学生生活環境の向上

- ①新型コロナウイルス感染防止策を講じ学生と教職員の安全と健康を守る。
- ②多様な学生の得意を伸ばし、質の高い Only One 教育を目指す

こども発達専攻並びにヘルスケア栄養学科の保育士、幼稚園教諭、栄養士の資格「プラ

ス α 」の教育を推進する。

こども発達専攻では+ α 探究コースに「こどもスポーツ・ダンス」「こども英語」「こども心理」等 10 コースを設定し、学生が興味関心のある領域を積極的に学ぶことで、質の高い特徴ある保育者を育成する。

ヘルスケア栄養学科にアスリートフードマイスター資格を導入

③私立大学等改革総合支援事業タイプ1とタイプ3（プラットフォーム型）に応募する。

④**ICT教育の推進ーデジタル化社会に対応して**

・教育コンテンツ及び教育方法の進化（動画、同時配信ライブ、双方向等）による情報の大容量化や多くの場所で情報機器を使用することによって生じるトラフィック量の増大、また通信の安定化を図るため、**学内 LAN を現在の 1Gbps から 10Gbps 対応に整**

備し、デジタル化社会に即戦力となり得る教育を実践する。

⑤**産学連携教育の推進**

企業との連携による共同開発事業等を通して実践力のある人材を育成する。

・新たに、生活クリエイション専攻では㈱ストライプインターナショナルおよび㈱リクルートスタッフィング情報サービスと、またヘルスケア栄養学科では清本鐵工㈱および㈱マルエツと協定を締結した。

2. 学生募集の強化

①紙を媒体とする広報から電子媒体に切り替えていく。

- ・Web 出願、双方向型 Web オープンキャンパスを充実する。
- ・短期大学のホームページに加えて、各学科・専攻のホームページを充実する。

②各学科専攻の定員を確保する。

3. 就職支援とキャリア教育の推進

①資格教育の充実

・生活クリエイション専攻では調剤薬局事務資格と IT・ビジネス資格を導入する。

- ・こども発達専攻の保育士、幼稚園教諭免許状の取得率 90%以上を目指す。
- ・保育士または幼稚園教諭等の保育者としての就職率の向上を目指す。
- ・ヘルスケア栄養学科の栄養士免許取得率 85%以上を目指す。
- ・ヘルスケア栄養学科の栄養士として（栄養士免許活用を含む）の就職率 90%以上を目指す。

②公務員対策講座、eラーニングの実施、Web 就職活動への対応

- ・公務員保育士の合格率を定員の 1 割以上を目指す。

③魅力ある就職先の開拓と就職率 100%の達成

④卒業生のフォローアップ

4. 地域社会への貢献

①市川市との包括連携協定事業の実施

②子育て支援センターの継続

③大学コンソーシアム市川の推進

④リカレント教育の実施

- ・こども発達専攻では昭和学院の関係者及び保護者等を対象に、科目等履修生を活用した幼稚園教諭2種免許状の取得制度を立ち上げる。
- ・ヘルスケア栄養学科では昭和学院の関係者及び保護者等を対象とした資格講座として「科目等履修生ハイブリット型講座」を開設する。「食生活アドバイザー」「アスリートフードマイスター」等の資格取得を予定している。

(2)昭和学院高等学校・昭和学院中学校

1. 事業計画

【基本方針】

『スクールミッション』

- (1) 将来、国際的視野を持ち、様々な分野でリーダーとして活躍するために必要な深い教養を身に付けさせるとともに、建学の精神「明敏謙譲」の態度を育成する学校
- (2) 中高一貫教育校として、教育活動の一層の改善充実を図るため、本校の教育課題を明確にして教職員の共通理解を図り、改善のための具体的方策を積極的に実践していく学校
- (3) 高いレベルの文武両道を目指す進学校として、生徒・保護者・県民の期待に応える魅力ある教育活動を実践するとともに、中学→高校への円滑な接続を図り、計画的・組織的・継続的な学習指導・進路指導を行い、生徒の進路希望実現を支援する学校

「スクールポリシー：魅力ある教育活動の指針」

① グラデュエーション・ポリシー：育成を目指す資質・能力に関する方針

(本校の育成したい生徒像)

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら行動できる生徒
- 2 高い志を持ち、学習やスポーツ、文化活動に励む「文武両道」を目指す生徒
- 3 自らを律することができ、人を思いやることのできる人間性豊かな生徒

上記生徒像の具現化としての「3+1の力」の育成

- ・考 動 力：現状を批判的に分析し、課題を発見する力
課題解決のために計画を立て、実践する力
新たな価値を創造する力
- ・対 話 力：他者を思いやり、共感する力
他者の話に耳を傾ける力
自分の考えを発信する力
- ・挑 戦 力：失敗から学び、常に前を向き続ける力

好奇心をもって自分の視野を広げる力

限界を定めずに物事をやり抜く力

・自らを律する力

② カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成及び実施に関する方針

☆本校は令和2年度より新コース制を導入しており、そのコースごとのコンセプトを示す

IA(インターナショナルアカデミーコース):国際感覚を磨き、海外で活躍する人材へ成長する
→ネイティブと日本人教員の2人担任制。オールイングリッシュの英語授業で、ツールとしての英語の精度を伸ばす。短期留学も推奨し、英会話力を磨くとともに、コミュニケーション能力や ICT 活用力も育てるなど、国際人、且つオールラウンダーとしての能力を育成するための特化したカリキュラム編成を行う。

海外大学、東京外国語大学、早稲田大学国際教養学部、国際教養大学などをを目指す。

TA(トップグレードアカデミーコース):変動する社会のリーダーとして生きる力を磨く

→少人数制・複数担任制で一人ひとりのサポートを徹底。高い志を持つ仲間との協働学習を通じ、社会に適応するのに必要な資質を鍛えられるのも魅力。各教科の基礎体力を向上させるとともに、思考力・判断力・表現力を磨くハイレベルな授業や、放課後講習、特別講座などで鍛え上げるカリキュラム編成を行う。

東京大、京都大、東京工業大、一橋大、国公立大医学部などの最難関大学を目指す。

Adv(アドバンスアカデミーコース):一人ひとりの「今」必要な学びをじっくり深められる

→千葉大など難関国公立大学や早慶上理などの難関私立大学に対応したカリキュラムで、質の高い授業を実施し、希望進路の実現をサポート。一人ひとりの課題を克服できるよう、放課後の特別講座、長期休業中のハイレベルな講座開講などのプログラムでサポートする。

Ath(アスリートアカデミーコース):文武両道を貫き、未来に生きる力を手に入れる

→全国レベルの部活動が多数ある環境で、高い目標を持って取り組みながら筑波大や早稲田大などの難関大への進学も実現させる「文武両道」を体現するコースで、授業中の集中力・理解度の向上を目指したカリキュラム編成を行い、したスポーツ・芸術部門での活躍を重視する生徒たちを支援する。

GA(ジェネラルアカデミーコース):幅広い分野をバランス良く学べる環境で未来を思い描く

→自分の好き・楽しいを学びにつなげていけるコース。興味関心に合わせて探究学習、選択授業(マイゼミなど)を受けられる柔軟で興味・関心を引き出すようなカリキュラムを用意。多様な学習活動によって広い視野を獲得するなど自分の未来を思い描ける力を身につける。

☆ また、「3+1の力」を育成するため、次の方針に基づいて教育課程を編成・実施する。

ア ICTの活用 (ICT活用した主体的・能動的な授業)

クラス運営から授業まで全ての活動において、ICTを最大限活用します。1人1台iPadを持ち、世界と瞬時につながる環境を通して、行動力と挑戦力を養う。また、情報モラルに

ついて指導し、自らを律する力を養う。

イ 国際活動 (IA など国際教育)

多数のネイティブの教員と共に多言語を使うことが当たり前になる環境を通して、対話力と挑戦力を養う。選択制の海外研修、1対1で英会話ができるオンラインスピーキング学習などを通して、グローバルな視点での考動力を養う。

ウ 自律した学習者の育成

家庭学習のサポートを始め、周りの雑音をシャットアウトできるキャレルデスクでの自習室、困ったときに支えてくれるチューター制度、70000冊以上の蔵書を抱える図書館の静かな環境などを通して、自らを律して学習に向かう力を育む。

エ 探究活動 (探究フェスタ) 学びの多様性・個性の多様性を探究でまとめていく

答えのない問いに取り組む活動を通して、3+1の力の全てを養う。年間を通して系統立てて行う探究の時間をはじめ、実験を重視した理科の授業や、行事の中でも多様な探究活動を行っていく。

オ 自主活動 (よくする会・生徒会)

生徒たちが創造力豊かに意見を出し合う生徒主導での活動を支援して、3+1の力の全てを養うとともに、保護者・地域・外部企業と連携し、生徒の自主性を育んでいく。

カ 体育活動の推進 (部活動)

部活動、スポーツフェスティバルなど特色ある体育活動を通し、自他を尊重して対話を重ね、自らを律する力を育み、困難に立ち向かう挑戦力を養う。

キ 特別な配慮を必要とする生徒への対応 (きめ細やかさ)

教員と生徒の関係は全ての基本であり、心の通った密な関係を通して、生徒の精神的な成長を支えていく。生徒指導・面談・相談対応など、困ったらいつでも方向性を示すとともに、全体的な指導だけでなく、1人ひとりにぴったり合った支援を行っていく。

ク 多様な評価の実施 (進路実現・評価)

生徒が3+1の力を身に着けているか適切に評価するために、定期考査だけではない、各教科や学校生活の中で資質・能力ベースの多様な評価を実施していく。

③ アドミッション・ポリシー: 入学者の受け入れに関する方針

本校が育成を目指す資質・能力並びに3年間・6年間計画する教育内容を踏まえ、入学時には次のような生徒を求めている。

- ・中学校・高等学校で修得すべき基礎学力の上に、各自の心身の発達及び進路に応じて、本校で高度な学力を身に付けようとする生徒 → 一般入試 など
- ・本校で身に付ける資質・能力を発揮し世界や地域の課題を自分の課題として、解決に向けて探究するとともに、仲間と一緒に活動しようとする生徒 → 推薦入試 など

- ・座学のみならず地域等と連携した探究活動等の多彩な活動に取り組むことを通して、理解力、思考力、協働力、探究力等を育もうとする生徒 → マイプレゼンテーション入試など

【実施計画】

1. 学力向上と進路実績の向上

- ① 新コース制導入3年目(完成年度)フロントランナーとしての進学実績の向上を目指す
 - ・コースごとの特色あるカリキュラムを、さらにハイレベルな授業内容で盛り上げていく。
 - ・コースごとの生徒一人一人の進路希望実現を最大限に支援する。
- ② 学力推移分析会・模試分析検討会・ケース会議等の精度向上を目指す
- ③ 授業力向上を目指した企画の実践
 - ・教科を超えた相互授業見学を基本とした「授業研究会・研修会」の年2回開催
 - 著名な教育学者・授業実践者等を招聘しアドバイスをいただく
 - ・アクティブラーニングの有効活用とAL 校内研修の強化
 - ・ICT を活用しての思考力・判断力・表現力のさらなる向上を目指す研修会等の実施
 - ・進学指導先進校への視察
- ④ 自学自習体制の確立
 - ・各コースでの「学びあい」「教えあい」による切磋琢磨の実践
 - ・自習室での自学自習の習慣化とチューターによる特別講座の開講への参加を促す
- ⑤ 探究学習の精度向上
 - ・答えのない問いに取り組む活動を協働して取り組み、多様な探究活動につなげる。
 - ・集大成の「探究フェスタ」で、築き上げた成果のプレゼンテーションを実践する。

2. 部活動のさらなる活性化

- ① 各部において、コロナ禍の中での部活動の在り方を真剣に考える。
 - ・生徒と顧問とのより好ましい信頼関係の構築に励む
- ② 真の「文武両道」を目指す
 - ・運動部も文化部も、全国大会での上位入賞
 - ・部活動で頑張った生徒の難関大学へのチャレンジと合格を目指す
 - ・部活動終了後(本来の設定は20時まで)、自習室にて学習し帰宅する習慣化を図る

3. 資質・能力の高い生徒の獲得

- ① 広報部による戦略的募集活動の実践
- ② 令和5年度向け入試で、中・高ともに「SA(サイエンスアカデミー)コース」の募集を行う

4. 高校入試のクリエイティブな改革に着手

- ① 高校入試改革PTを立ち上げクリエイティブな改革をスタートさせる
- ② 推薦入試における基準の改訂
- ③ 特色ある各コースの実践を強力にPRし、偏差値の高い生徒の獲得に注力する
- ④ 将来的には、中学の学則定員増、高校の学則定員減を視野に入れて改革を進める

5. 安心・安全な学校づくり

- ① コロナ禍の中での、継続的な感染防止対策の徹底
- ② 生徒が快適な学校生活を送れるよう、常時、施設・設備の点検を心がける
- ③ 教師による、生徒一人ひとりに対する観察とコミュニケーションの徹底

(3) 昭和学院秀英高等学校・昭和学院秀英中学校

【基本方針】

1. 生徒の学力の向上、進路実績の向上
2. 安心・安全な環境整備
3. 生徒募集に係る広報活動の充実
4. 事務の効率化
5. 昭和学院秀英高等学校創立40周年記念事業の準備

【実施計画】

1. 生徒の学力向上のための教材教具・環境の整備
2. 生徒用PC・高1BYODを活用した授業の拡充
3. 高1・高2 GCP（グローバルコンピテンスプログラム）
4. 教員研修の充実
5. 生徒及び教職員の安全を最重点とした施設・設備の改修等
6. 生徒募集にかかる本校の評価・評判の維持・向上のための環境整備
その際、校舎等建て替え時期を考慮し、喫緊の課題を重点実施
 - ・空調設備交換
 - ・照明器具LED化
 - ・人工芝張替
 - ・高校棟トイレ改修
7. 学校案内、PR用パンフレット等の作成・広告等の充実
8. 導入した校務支援システムの確実な運用・利用拡大
9. 昭和学院秀英高等学校創立40周年事業準備委員会

(4) 昭和学院小学校

【基本方針】

ディプロマポリシー：本校の児童に学びの中で修得して欲しい力・態度

小学校学習指導要領を踏まえて、次の資質・能力を中心とした、生涯にわたって学び続ける力の基礎を身に付けさせます。

- ・確かな学力と創造性豊かな感性
- ・人権尊重の精神と学びを支える力（人間関係、コミュニケーション能力）

- ・主体的・積極的に取り組み課題を見出し解決する力

カリキュラムポリシー：教育課程の編成・実施方針

小学校学習指導要領に則り、人間として調和のとれた子供の育成を目指し、適切な教育課程を編成するとともに、地域の先進的モデルとなるべく先行的な実践にも積極的に取り組みます。その際、次のことがらを教育目標として、教育環境を整え、教育課程を編成します。

- ・初等教育段階での「基礎・基本」の確実な理解とそれを活用する力の育成
- ・ Society5.0 時代に生きる力となる創造力と ICT 活用能力の伸長
- ・子供の学習状況に応じた学力の伸長（ICT などを活用した個別学習）
- ・主体性と協調性を育み、国際社会で活躍できる資質の養成

アドミッションポリシー：入学者受け入れの方針

本校は大学に附属する小学校として、大学等と協力しながら初等教育の研究を行いつつ、様々な実習のフィールドにもなっている。そのような本校の性格や役割を踏まえて、個性豊かな子供たちを受け入れます。

- ・誰とでも協力しようとする協調性のある子供
- ・最後まで粘り強く取り組もうとする子供
- ・意欲的に学ぼうとする姿勢のある子供

1. 子どもの豊かで深い学び
2. ICT 化の推進
3. グローバル化の推進
4. 学習環境の構築
5. 教師の指導力向上
6. 広報活動の強化

【実施計画】

1. 子どもの豊かで深い学びの構築
 - ・ 個別最適の学びと協働的な学びの適切な組み合わせの探究
 - ・ 豊かな心と体を育てるために人権教育、キャリア教育、福祉教育、食育、安全教育等のさらなる充実
2. ICT 化の推進
 - ・ タブレット端末を活用した授業の更なる展開とその効果の検証
 - ・ プログラミング教育のカリキュラムのさらなる開発

3. グローバル化の推進

- ・ 教員のグローバル化研修
シンガポール日本人学校への教員派遣2年次
- ・ 英語の授業、イングリッシュキャンプのさらなる充実
- ・ オンラインでの国際交流
※英語(外国語)で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる能力を重視
- ・ SDGs 教育に取り組み、世界に目を向ける

4. 学習環境の整備

- ・ ウェスト館の有効活用及びバリアフリー化
- ・ 教材教具の整備（デジタル教科書含む）
- ・ 図書館教育の充実と各教科との連携を図る

5. 教師の指導力向上

- ・ 研修のさらなる充実
- ・ 千葉県私立小学校研修会会場校（11月）
コロナ禍の中であることを踏まえ、授業公開、協議会等の企画を再検討して実施

6. 児童募集・広報活動の強化

- ・ 新型コロナ感染拡大、少子化の中での定員の確保
- ・ ホームページの充実
- ・ 学校説明会の充実

(5) 昭和学院幼稚園

【基本方針】

1. 新幼稚園教育要領実施に向けて教育の充実
2. 英語学習ほか教育活動の充実
3. 預かり保育、課外教室の充実
4. 少子化対策として未就園教室の拡大、充実
5. 園舎・園庭の整備
6. 募集活動の充実
7. 新型コロナウイルス感染予防対策の徹底

【実施計画】

1. 教員の保育研修
 - ・ 新教育要領に準じた保育へ
 - ・ 保育の改善
2. 教育活動の充実
 - ・ 英語学習の充実

- ・体力向上に向けた活動の充実
- ・コロナ禍における教育、各種行事の再検討、改善、充実
 - 動画配信、教材の配布
 - アプリ・ホームページを利用した保護者への連絡の充実
 - 行事の再検討
- 3、預かり保育・課外教室の充実
 - ・預かりアプリの有効利用(保護者とのコンタクト)
 - ・課外『学研教室』の内容変更、『かがくルーム』の開講
 - ・課外英語教室(卒園者用)の拡大
 - ・ダンス教室、サッカー教室・・・短大体育館、中高テニスコートを利用
- 4、少子化対策として未就園クラスの拡大、充実
 - ・ひよこクラブ週4日
 - ・音楽教室、ダンス教室等 週3日 各二部制・・・短大図書館(学童の部屋)を利用
 - ・『子育て相談会』、『読み聞かせの会』を新設・・・短大図書館(学童の部屋)を利用
- 5、園舎、園庭の整備
 - ・補助金を利用した施設・設備の充実
 - 園庭斜面整備(遊具設置)
- 6、募集活動の充実
 - ・ホームページ・入園案内のリニューアルと有効利用
 - ・説明会、見学会の改善
 - ・赤ちゃん向けの『読み聞かせ』や母親向けの『子育て相談会』新設
- 7、新型コロナウイルス感染予防対策の徹底
 - ・新型コロナウイルス感染予防のための物品購入・・・コロナ補助金
 - (サーモカメラ・空気清浄機・消毒液・ハンドソープ・マスク等)
 - ・施設、遊具、用具などの清掃及び消毒、換気の徹底
- 8、その他
 - ・安全管理、危機管理体制の見直し
 - 個人情報管理、避難訓練、施設管理、アレルギー対策等
 - ・新給与体制開始

(6)法人

【実施計画】

① 財政の健全化への取り組み

- ・経営改善計画の遂行
- ・学校ごとに各教科の授業時間数に見合った教員数を見直し、採用事務に当たる。

② 時間外勤務削減への努力

- ・業務の積極的な見直しと改善
- ・1 年間の変形労働制の維持
- ③教育環境の維持・改善の実施と工程表の作成
 - ・法令等に基づく点検、修繕
 - ・電話交換設備更新
 - ・中央監視装置更新
 - ・照明灯のLED化
 - ・建築基準法点検に基づく設備改修
 - ・GHP 設備の更新
 - ・修学館閉鎖後の活用方法の検討
- ④寄附金の募集